

会員数(57.5現在)

逗子地区 139名

葉山地区 295名

大船地区 58名

合計 492名

# 吟道月報

日本詩吟学院岳風会 認可  
神奈川碩心会 発行

57.5月

第118号

根岸岳萃  
編集岳岳  
中村愛岳  
杉山雪風

## 私の人生

堀内支部A組 大倉伸風

人生の苦しみ、楽しみはある程度自分自身で決められることではないでしようか。この世の中は全部顔が違うように、生き方、気持ちも自ずから違ふと思う。誰れも一度レかたいな人生を楽しく明るく過したハと思ふ心は同じだと思ふ。それができれば倅せな事で、これがままならぬ世の中で、家庭環境自分自身の健康状態等と思ふようにならなハ。世の中は人様々な生き方をしているが、お金も暇もあつて来る日くをどう過して行くかと悩みつゞけて生きている気の毒な人もある。人生一寸先は闇！何時死んでも悔のない人生を過したいればこれ程倅せはなハ。

私は十七年前に夫に先立たれ、以来二人の息子と三人で一生懸命生きて来た。現在ではささやかかな自営業の傍ら十年前から県立就業後援センターの仕事(フランスス刺繍)をやらせていた。毎日一生懸命働いてゐる。そして併せて詩吟、詩舞、民謡を長年つゞけてゐる。この世の中はどんなに考えてもなる様にしかたがなハ。くよくよしてハ一生、楽しんで馬鹿をいって過してハ一生、趣味を持つという事は頭と体の若返りの秘訣だと思ふ。これから先も短ハ人生をせいでハ明るく楽しく過したいと思ふ。



## ◎ 45周年 記念吟道大会間近か

五月十五日、最終的準備委員会が会長以下正副責任者20名出席のもとにひらかれ、細部のな話し合いが行われました。責任者の方は担当部門の役員の方へ連絡指示を、又役員へプロ最終頁に役員名記載の方は担当部分の責務遂行に御協力下さい。

◇全役員は九時集合（開館九時）

◇プロ余分は当日会場へ持って行って下さい。

◇会員記念品は会が終わって後日配布する。

◇弁当は到着次才係りが配布しますので、支部の係りの方は協力して下さい。

◇休憩、昼食は必ずロビーで（招待者別室）

◇許証授与……六段以下は各自の席で起立

◇スナック写真希望の方は後日購入を受けつけます。へ以上話し合いの中から、又気づいた事を記しました。

◇奥伝以上は舞台下に一列に並び

◇スナック写真希望の方は後日購入を受けつけます。へ以上話し合いの中から、又気づいた事を記しました。

## ◎ 根岸会長・県連副部長に

五月九日(日)平塚農業会館に於て県本部総会が行われ、定例総会のことと役員改選があり、県本部長に常盤岳相先生留任、副本部長に留任の新田岳悠先生と共に、根岸岳華先生が選出されました。おめでとうございませう。

カセット

レコードの発行（吟詠教本漢詩篇）

吟詠教本に於て既に日本篇一、四集が発行されておりますが、今回中国篇五、六集が完成発行されました。

◇代価：レコード共一八〇〇円（送料別）

◇申込先：梱包、送料等少数ですと割高に存りますので団体単位一括購入を希望とのこと。

（詳細、加藤秀岳先生迄TEL五、二〇〇四）

紙面を埋めるのに苦勞して次頁に身近な歌に関する記事をのせることにしました。参考に存りますが、いかがですか。

# 蘇峰翁の歌

諸留岳城

(吟道四七二月号より)

私は先生の代範で工場へ伺っての帰路、ふと道標に次の歌を発見しました。

何事も変り果てたる世の中に

昔ながらの富士の神山

非常に味のあるうたと思い、手帳に誌して

帰り、翌日岳風先生にこのうたを示して、誰方の作かどお知りなとお尋ねしたところ、即座

にハッキリと

「恐らくこの歌は徳富蘇峰先生の作であらう」と申されました。

その後数年にしてこのうたが徳富先生の作に間違いのない事が確認され、岳風先生の造詣の深さに敬服した事でした。

## 実朝の歌と宿命

大海の磯もとどろに奇する波

わねてくだけてさけて散るかも

大磯(鎌倉)に観月して

源

実朝

現在葉山マリナーのある銚子海岸の一带

を昔は大磯とよび、この歌は鎌倉三代将軍源

実朝が、建保五年ここに観月を催した時に詠

んだものとされている。のちに入幡宮の境内

に於て二代将軍頼家(兄)の遺児公曉に暗殺さ

れたのであるが、わねてくだけてさけて散る

かもと、あたかも自分の**宿命**を暗示している

かの如きに今にして思っているのである。

(訂正)

四月月号報中、支部別会員一覧表の数字の

なかで、逗子B9をS1に、桜山B15をI4に

沼間I0をI2に

(入) (△△)

(大船支部) 笈川貴子 横浜市戸塚区上倉町五六四一四

(電) 〇四五八八一六一三四

(〇〇) 立澤日出夫 藤沢市大鋸三二二一四

(電) 〇四六六一三三〇四九〇

(退) (△△)

205 山地律格(退△)和田純舞子(退△) 小峰高治(大

船△) 蛸田国賓(大船△) 高村晴子

## 昭和56年收支決算書

科 目		金 額	備 考
収 入 の 部	県本部、碩元会費	1,128,480	会員より徴集
	総本部費	359,900	〃
	繰入金	93,100	許証部、その他
	頒布品売上代	10,880	ネームプレート、吟道手帳等
	吟道誌代	53,960	個人購読者分
	雑収入	12,000	寄附金、その他
	預金利子	9,343	
	前年度繰越金	194,636	
計		1,862,299	

科 目		金 額	備 考
支 出 の 部	県本部費納入金	464,160	386×100×12 年少4×20×12
	総本部費納入金	358,000	466×700 37×600、8×1,200
	通信連絡費	22,190	電話料 切手 その他
	交際費	76,500	祝儀、中元歳暮 70,500 香典見舞6,000
	吟道誌代	92,000	本部へ送金
	助成金	156,400	温習会等補助金
	文書費	117,550	月報印刷代、書類コピー代
	旅費交通費	37,760	
	会議費	41,337	会場費16,500 茶菓子 24,837
	備品費	13,640	写眞額帳 ゴム印等
	消耗品	1,010	紙、袋その他
計		1,380,547	
次年度へ繰越		481,752	
再 計		1,862,299	

昭和57年 月 日

上記の通り報告致します

会計部長 秋元 梁 風 (印)

監査報告

会計部長の報告通り相違なきものと認めます。監査 井沢 潮 岳 (印)

竹石 憲 岳 (副)